

東京丸の内ロータリークラブ

第26回 例会議事録

ゲスト・ウエルカム・デー

卓話：車椅子の会 サイレントフット

佐藤 利章 様

2019年4月24日(水)

会場 センチュリーコート丸の内
アカンサスノース・ルーム

① プログラム

- ◆ 司会進行 古山真紀子会員
- ◆ 開会点鐘 尾崎由比子会長
- ◆ ロータリーソング 岸宏保会員
「奉仕の理想」「手と手つないで」
- ◆ ゲスト・ビジター紹介 古山真紀子会員
日馬富士 公平様（元横綱、モンゴル日馬富士
学校理事長）
松本 晶子様（ビューティーセラピーマジック
青山店 代表）
小野 佳子様（UBS 銀行 ウェルスマネーজে
メント本部 ディレクター）
中山 薫様（株式会社 こどもみらいプロジェ
クト 代表取締役）
土居 岩生様（地区研修副リーダー、東京お茶
の水 RC）
竹内 渥躬様（東京荒川 RC）
服部 支朗様（東京荒川 RC）
高橋 映治様（東京臨海 RC）

牛島 聡様（新クラブアドバイザー、東京お茶
の水 RC）

◇ ビジターの方々より一言

・竹内渥躬様： 私はロータリー歴 1983 年以來で
す。1989 年にクラブ幹事を、2000-2001 年
にクラブ会長をやりました。わたしの先輩
の服部さんにすべてお世話になっておりま
す。今後ともよろしくお願ひします。

・服部支朗様： 尾崎会長から日馬富士関が本日お
越しになることを伺い、参りました。日馬富
士さんは現在学校の理事長をしていらっし
ゃいますが、その運営にあたっているのが
新モンゴル学園の創設者で、米山奨学生で
もありました通称ガラさん（ジャンチブ・ガ
ルバドラッハさん）です。必修科目に日本語
が入っており、日本の公立学校のカリキュ
ラムを採用していらっしゃいます。私達も
4 年前から新モンゴル学園を応援して、そ
こから日本への留学生に奨学金を差し上げ
ています。今年 7 月にもモンゴルに参りま
す。私共のクラブは今年 7 月 2 3 日に創立
5 0 周年記念式典を開催しますが、私は実
行委員長を務めています。ぜひお出かけ頂
きたいと思ひます。

・高橋映治様： 私もガラさんを応援しており、本
日は日馬富士関にお会いしたくて参りまし
た。昨日地区研修協議会を私共クラブが主
催いたしました。ご参加くださった次年度
役員の皆様ありがとうございます。私
は大会実行副委員長を務めましたが、ここ
半年間、特に直近 2 か月は気が狂うかと思
うくらいロータリーに忙殺されました。今
後ともよろしくお願ひします。

◆ ニコニコ報告（久保田佳代会員）

・土居 岩生 研修副リーダー（お茶の水 RC）

「日馬富士さんの素晴らしい志に敬意を表しま
す。本日は丸の内クラブにおいて頂き有難うご
ざいます」

・藪口 真太郎 会員

(本日合計 15,000 円 〈累計 1,320,000 円〉)

② 会長報告 尾崎会長

(1) 入会式 (千賀みどり様)

千賀さんはアグネスホテルのオーナーでいらっしゃいます。ソムリエなどいろいろな資格をお持ちでいらっしゃいます。ちなみにホテル名「アグネス」は「Senga」を逆に読んだのが由来だそうです。



・自己紹介 (千賀みどり会員)

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりましたアグネスホテル東京の千賀です。どうぞよろしくお願いいたします。私はロータリーに入れて頂いたのがとても嬉しいです。といたしますのは、私とロータリーの関わりは小学校2年生の時に遡ります。実家の父がロータリーの会長でした1960年代に初めてオーストラリアからの交換留学生を受け入れるということがあり、お一人の留学生をお預かりしました。それから3年余りいろいろな留学生をお預かりした思い出があります。また幼

い時にロータリーのファミリー会に連れて行ってもらったことも懐かしく思い出します。今は結婚してホテル経営をしております。私はアートが好きですので、フリーのアートスペースを設けたり、コンサート、ワイン会を開催したりしております。今後いろいろと勉強させて頂き、私にも何か出来ることがあったら嬉しいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 日馬富士さんへの書の贈呈式

去年8月に日馬富士公平様にお越し頂き卓話をさせて頂きました。その時、是非とも皆さんで何かお役に立ちたいということになり、まずは学校に飾れる書を贈呈したいということになりました。まずは、書のお披露目をしたいと思います。作者である今井菜美子会員、ご説明をお願いします。

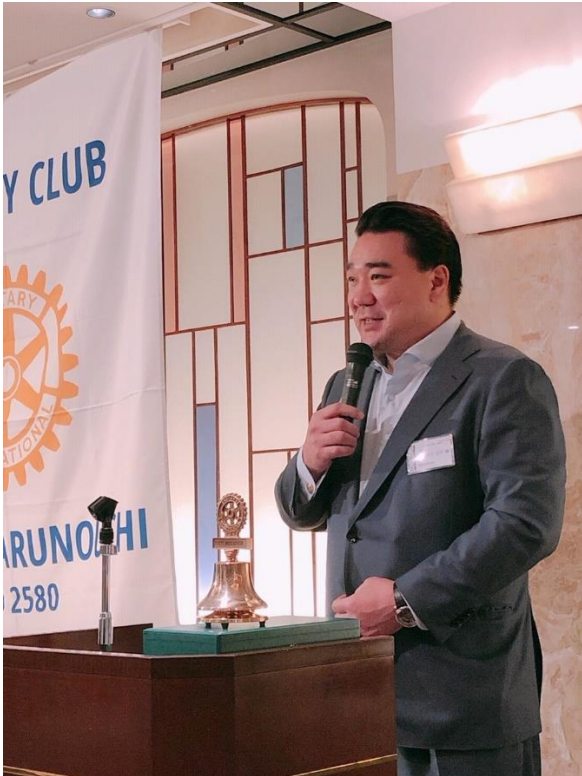


・今井菜美子会員： (日馬富士さんのご希望で) 「全身全霊」と書かせて頂きました。こちらは今から1300年前、中国唐の時代に活躍した顔真卿という、書道の歴史上5本の指に入る大家の書風を意識して書きました。なぜかと申しますと、顔真卿は書家であり政治家であったのですが、表面的なきらびやかさよりも一つ一つの線の充実、強さを大事にする鍛錬主義の人だったからです。私自身教育に携わっている身として、鍛錬主義は教育現場にも必要なと思いました。ちなみに、こちらは

「日馬富士閣に送ります。平成30年の冬に菜美子が書きました」という落款です。今後のご活躍に少しでもお役に立てましたら幸いです。

・贈呈式（会長より日馬富士様へ）

新モンゴル日馬富士学校と丸の内ロータリークラブ、とても強いご縁を感じます。どうぞ細く長くよろしく願いいたします。



・日馬富士 公平様： 皆さん、こんにちは。

「全身全霊」という言葉は、7年前に横綱昇進伝達式で「全身全霊で相撲道に精進します」という時に使い、話題になりました。とても感謝しています。去年の8月にこちらのクラブで、学校をモンゴルに作る計画についてお話しました。この学校を作りたいという夢は、今から5年前、横綱の時に持ちました。私は相撲を通して日本で育てて頂いて、どうしたら日本とモンゴルに恩返し出来るのか、ずっと考えて参りました。横綱というのは、横綱になってから何を成し遂げるか、というのが大事だと考えてきました。その中で教育に注目しました。日本の発展、日本人のおもてなし、マナーは、教育か

ら生まれたと感じました。教育を通じてモンゴルの子供たちにもっと日本という国を知ってもらいたい、私の様に、この素晴らしい方々と出会えるチャンスを与えたい、という気持ちで学校を作る計画を始めました。最初は幼稚園から大学までの学校を考えました。娘が青山学院に通っておりまして、青学のような学校を作りたいと思いました。ただ、大学は少し難しいので、幼稚園から高校までの一貫教育の学校ということにしました。

設計士である自分の同級生をディズニーランドに初めて連れていき、入園直後に感じるわくわくした気持ちをまず体験させ、その夜、その友達に「モンゴルに学校を作りたい。学校の門を入ったとたんに感動してわくわくするような校舎を建てて欲しい」と話しました。学校を作りたいという夢はありましたが、実際どのようにしたらよいのかはわからず、壁に突き当たりました。それで、先ほど話題になったジャンチブ・ガルバドラッハ先生（通称ガラ先生）に相談しました。そしてガラ先生に学校の経営をお願いすることになりました。

私の考えでは人には2つの技能があると思います。ひとつは頭で、ひとつは身体。ガラ先生の経営のノウハウと私の相撲道での経験、このふたつを合わせて、生徒たちが自分の目標に向かっていくことをサポートできるのではないかと思います。「新モンゴル日馬富士学校」を創設しました。おかげさまで去年の9月1日に開校し、740名の生徒が活動しています。非常に評価が高く、今年小学1年生72名の募集に1000人以上の希望がありました。この学校の目標は、第一に、みんなと協力できる、「おかげさまで」という感謝の気持ちが持てる、人を思いやれる素直な良い子たち、良い社会人を育てることです。第二に、私が大好きな日本という国の伝統、文化、言葉を覚えることによって、日本をもっと知りたいと思うような子供を増やすことです。今年9月から生徒を1940名に増やす予定です。相撲を通じてこうして皆さんと出会ったこのご縁を大切にしながら、教育を通して皆さんに

恩返しできるようにしたいと思います。これからも応援よろしくをお願いします。

・司会・古山会員： 私は通訳なのですが、NHK相撲放送の英語通訳もやります。例えば物言いがついた時に審判部長が行う説明、金星力士などのインタビュー、そして必ずあるのが毎場所の後の優勝インタビューです。私は実際に日馬富士さんの優勝インタビューを同時通訳させて頂いたことがあります。なので、今一緒に部屋にいただけでドキドキしています。日馬富士さんの次の夢に、ロータリーを通じて接点を持てるというのは、素敵なお縁だなあと改めて思っております。どうぞこれからも細く長くよろしく願いいたします。

③ 幹事報告 塩島幹事

(1) 東京お茶の水 RC との合同例会 (5/22) について

合同例会の前にお茶の水 RC の皆様と委員会毎に情報交換の時間を設けて頂きます。場所はホテルグランドパレスです。Face book に出欠をお願いします。

11:30~ 情報交換会

12:30~ 例会

(2) 他クラブとのバナー交換報告

鈴木会員が京都 RC および京都北 RC、尾崎会長、堀江会員が東京新都心 RC にてバナー交換をしてきてくださいました。

◇ 堀江会員より報告： 5月17日に尾崎会長、竹之内会員、早野会員、白石会員と私の5人で東京新都心 RC にメイクアップに行き参りました。卓話が芸人さんだったこともあり、非常に笑いの多い明るいクラブという印象を持ちました。出席率

が90%を下回ると全員でメイクアップの歌を歌うということも印象的でした。楽しく出席率を上げる工夫だと思います。初めてのメイクアップでしたが、非常に温かく迎えて下さり、これからもいろいろな会に参加できたらなと思えました。

(3) 東北すくすくプロジェクトについて

来年東京 RC が100周年を迎えるということで、いろいろな奉仕活動を計画されています。このなかで「東北すくすくプロジェクト」に5万円寄付して欲しいという依頼がきています。まずは、その内容の詳しい説明をお願いした上で、丸の内 RC の協力方針を決めたいと思います。

(4) 「ロータリーの友」について

ロータリアンの3大義務の中に『ロータリーの友』を読む」というのがありますが、お茶の水 RC さんでも会員が「読んで心に残ったこと」を発表する場を設けているそうです。当クラブでも第2例会に順番で発表することにしようかと思います。発表の順番は、「発表した人が次の発表者を指名する」という形にします。最初はチャーターメンバーの田路会員にお願いしたいと思います（5月は第2例会が合同例会のため5月8日）。

④ 出席報告 臼杵会員

会員数	26名	ゲスト	4名
出席数	19名	ビジター	5名
欠席数	7名	出席率	73.1%
	前回修正	出席率	96.0%

⑤ 卓話:特定非営利活動法人

車椅子の会サイレントフット

会長 佐藤 利章 様

◇渡邊会員より紹介： 昨年の7月15日に私の所属するヴェルディのOB会1969と佐藤代表の車椅子の会サイレントフットで1Day Matchというイベントに参加しました。その辺のお話も含めてお願いできればと思います。また、今年ロータリー財団からサイレントフットに対する支援の予算取りがほぼ決まったと聞いております。引き続き障害者向けの活動が出来ればと思っております。



皆さん、こんにちは。車椅子の会サイレントフットの佐藤と申します。よろしくお願ひいたします。まずはじめに当会の案内ビデオを上映します。

当会は小田急線相模大野近辺にて活動しております。関東では一番障害者が活動している団体だと思います。いろいろな障害者と接すること、そし

て自分の目線で選んでいるうちに、現在12の活動をしています。

私は今から15年前、突然の脊髄梗塞という病に倒れて車椅子になりました。それまでは皆さんと同じでした。先生から「あなたの足は二度と歩くことはできません」と言われた時は、死にたいと思いました。でも、何とかなるのですね。人間って、生きていけるんです。だから体にある障害は問題ではないのです。一番の問題は、心に宿る障害です。私はこのことに気が付きました。ですから目、耳、足、いろいろな障害だけでなく、心に宿る障害、こちらへのケアも含めて、街に出て、楽しいことをして。「人と接することは楽しいのだ」とサイレントフットを通じて感じていただければ、と思い、たくさんの方の活動をするようになりました。(写真を投影)こちら、「サイレントフット チャレンジド・マッチ」という東京ヴェルディの試合における東京丸の内ロータリークラブの活動の写真です。こちらは、盲目の天才ピアニスト佐藤翔くんによるキックインセレモニーです。こちら「勇気」の書は、このチャレンジド・マッチのイメージの書です。ダウン症の書家金澤翔子さんの作です。Tシャツも作りました。金澤さんの先生は柳田泰山先生で、東京ロータリークラブの会員だそうです。柳田先生のご紹介で翔子さんと知り合い、現在はLINEをやり取りするお友達です。

実際、この活動の裏はなかなか大変です。チャレンジド・マッチに障害者の方を100名ご招待したいと思いましたが、やはり予算がかかるのですね。ここが一番苦労しました。それでも第一回、第二回と開催させて頂きました(残念ながら今年の開催はまだ決まっておられません)。この横断幕「これからもサイレントフットと共に」はサポーターの皆さんが書いてくれました。ありがたいですね。涙が出ました。優しいなって。他にもチームがありますが、やはり僕にとってはヴェルディなのかな、と思います。ぜひ、次回、丸の内ロータリークラブと共にこの味の素スタジアムでやっていきたいと

思っております。

最後になりますが、第2回チャレンジド・マッチにご協力いただいた丸の内ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。このようなサッカーイベントのほかにも僕は主にやっているのは講演活動です。小学校から中学校、なかには高校に行き話をしていきます。普段子供相手なのでどうしても上から目線になってしまってますみません。日馬富士さんの方からモンゴルにも来てくれというお話をいただくことになるかと思っております。

(日馬富士さん：うちの学校も障害者の皆さんを10数名入れています。互いに触れ合って「壁を壊す」ということです。私の兄も耳の障害を持っており、特別学級に行っていたので、僕も手話ができます。(拍手))

私共の会ははっきり言ってギリギリの状態です。ただ、一人でも笑える子供がいてくれたらと思います。子供たちにもいつも言っています。「この世の中、勝負だ。戦いには武器を持って。どんな武器か。それは槍です。短い槍、長い槍、そんなのは要らない。重い槍(=思いやり)を持って」と。日馬富士さんも本当に思いやりのある横綱でした。子供たちがそのような素晴らしい人たちの背中を見ながら成長するように、そして丸の内ロータリークラブがどんどん素晴らしい発展を遂げ、社会支援を継続して下さるよう、心から祈っております。本日はありがとうございました。

⑥ 今後の予定 田路会員

今年度イニシエーションスピーチが出来なかった方、新入会員の方、来年度も月に1回はイニシエーションスピーチを続けて参りますので、ご準備をお願いいたします。

◇ ゲストの皆様より一言

・松本晶子様(ビューティーセラピーマジック青山店代表)：今日は尾崎様の紹介で参りました。素晴らしい会だと思っております。とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

・小野佳子様(UBS銀行ウエルスマネジメント本部・ディレクター)本日は尾崎様にご紹介いただき参加させて頂きました。大変素晴らしいお話で、勉強させて頂きました。

・中山薫様(株)こどもみらいプロジェクト・代表取締役)はじめまして。こどもみらいプロジェクトという学童保育を恵比寿でやっております中山です。もし何かご縁がありましたらよろしく願います。

◆ 閉会点鐘 尾崎会長

本日はサイレントフットの佐藤様、卓話をありがとうございます。本当にあの場にはいないとわからない空気感がございます。次回開催される時には皆様ぜひご参加いただきたいと思います。グラウンドに佐藤さんが大きく映し出された時などは、とても感動いたしました。

また、先日別の会で東京ロータリークラブの会員でもある坂東眞理子様とご一緒いたしました。東京丸の内ロータリークラブ立ち上げのことをお話したらとても興味を示されまして、そのご縁で6月5日に急遽卓話にいらして下さることになりました。本を出版なさったばかりのお忙しい中駆けつけてくださいますので、どうぞその日はお休みなさらないようにしてください。

佐藤さんは渡邊会員の紹介、日馬富士さんは事務局桑原さんの紹介、このようなご縁で東京丸の内ロータリークラブは成り立っております。令和になりましたも引き続き活発に活動していきたいと思っております。

(議事録作成：事務局 桑原)